

## 産業振興やライフデザイン支援など イオンと地域連携協定を締結



イオン株式会社と高山市は9月28日、産業振興や地場製品の販路拡大など多分野で協力を図る地域連携協定を締結しました。

協定書を取り交わした國島市長は「産業振興や婚活・移住支援など7項目にわたる協定を締結することができ、地域の課題を解決する大きな道筋ができました」と述べ、イオンリテール株式会社の梅本和典取締役会長(写真⑥)は「イオングループ全体へ協力の輪を広げ、高山のブランドを発信していきます」と力強く語りました。

また、10月30日より同社のカード型電子マネー「飛驒高山WAON」の発行が行われ、本カードを使用して支払われた金額の0.1%が市に寄付されるなど、地域活性化や新サービスの創出への取り組みが行われます。

## 飛驒地域創生へ 県と飛驒3市1村連携協議会設立



県と飛驒地域3市1村は9月26日、人口減少や少子高齢化などの問題に一体となって取り組むため「飛驒地域創生連携協議会」を設立しました。

本協議会には、古田県知事、國島市長、野村下呂市長、井上飛驒市長、成原白川村長が出席。会長に國島市長を選出するとともに、県と飛驒地域3市1村が連携し、産業の活性化や交流人口の拡大などに取り組むことを確認しました。

また、11月にフランスで行われるコルマル国際観光旅行博への出展や首都圏プロモーションなどを通じて飛驒地酒ツーリズムを推進するほか、首都圏での移住相談会の実施や観光振興策として3市1村内を運行する路線バスのフリー乗車券を販売するなどの事業計画案を承認しました。

## 千代田区で高山をPR 飛驒高山フェアを開催

東京都千代田区の飯野ビルディングで10月1日から2日かけ、飛驒高山フェアを開催しました。

これは、平成24年6月に締結した「千代田区と高山市との森林整備実施に係る協定書」に基づき実施した交流事業で、高山への観光誘客や移住促進PRのほか、イノの森に植樹されている荘川桜や臥龍桜の紹介などを行いました。

また、特産品販売ブースでは、トマトやシイタケなどが販売され、ビル内を歩き交う人々は足を止めて飛驒高山の特産品を買い求めていました。



## 消防ポンプ車を更新(高山・上宝)

消防ポンプ自動車の更新に伴う消防団への車両受渡式が10月2日(金)に行われ、高山支団の漆垣内班、上宝支団の蔵柱班にそれぞれ配備されました。

受渡式で野畑国久消防団長は、「新しい車両及びポンプ操作を熟知し、有事の際に万全を期すとともに、地域防災の要として地域住民の負託に応えるべく活躍を期待する」と訓示しました。

市では今後も計画的に車両の整備を進めます。

問合せ 消防総務課 ☎34-3792



消防団への車両受渡式(上宝支所前にて)

編集・発行/高山市企画管理部企画課  
〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地  
TEL/0577-32-3333(代)  
FAX/0577-32-7000 (市長室直通)  
FAX/0577-35-3174 (企画課直通)

HP/<http://www.city.takayama.lg.jp/>  
E-mail/[kouhou@city.takayama.lg.jp](mailto:kouhou@city.takayama.lg.jp)  
防災情報などは携帯電話でもご覧いただけます  
携帯用HP/<http://mobile.city.takayama.lg.jp/>